

クミアイ
水稲用本田殺菌剤
コラトックス® 粒剤5

いもち病から守り続けてきた
揺るぎない自信。

速く効きます！

3kg入

有効成分

ピロキロン

販売開始以来
30年以上！

安定した高い効果！



穂いもち



葉いもち

お求めは



クミアイ 水稲用 本田殺菌剤 コラトックス® 粒剤5

●有効成分：ピロキロン…5.0% ●人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

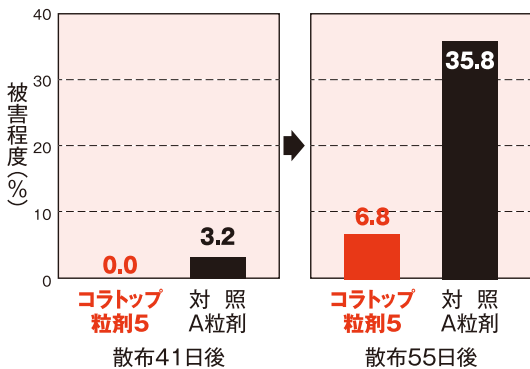
特長

- 有効成分が速やかに稲体内に吸収されるため、効果の発現が早い殺菌剤です。
- いもち病菌の侵入を防ぐだけでなく、孢子形成阻害作用・孢子病原性低下作用も有し、いもち病菌の蔓延を防止します。
- 残効性に優れているため、30～40日程度いもち病からの感染を防ぐことができます。
- 葉いもちの初発が出穂30日前以降の場合、葉いもちと穂いもちの同時防除が可能です。

適用病害および使用方法

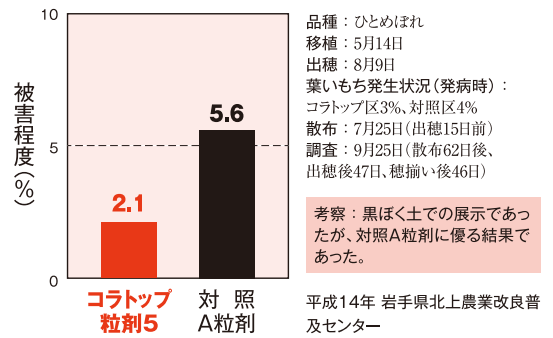
作物名	適用病害名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピロキロンを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	3～4kg	葉いもちに対しては 初発10日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前まで	2回以内	散布	3回以内 (直播では種時又は移植 時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)
	もみ枯細菌病	4kg	出穂30日前～5日前まで			

穂いもちに対する防除効果(多湿黒ボク土での穂いもち防除効果)



品種：かけはし
 移植：5月17日
 出穂：8月6日
 葉いもち発生状況：無
 散布：7月19日(出穂18日前)
 調査：8月29日
 (散布41日後、出穂後23日、穂揃い後20日)
 9月12日
 (散布55日後、出穂後37日、穂揃い後34日)

※試験圃場周辺には圃いもち多発圃場あり。
 ※8月29日調査ではコラトックス圃場には発病確認
 できず対照区では若干のいもち病を確認、及び
 上位葉への進展もあった。
 ※9月12日調査では対照区で多発。
 平成14年 岩手県二戸農業改良普及センター



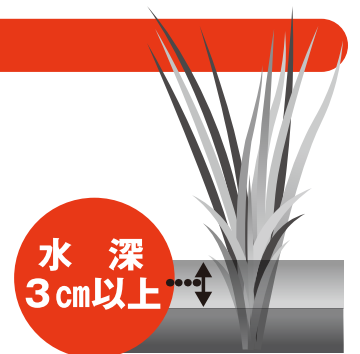
品種：ひとめぼれ
 移植：5月14日
 出穂：8月9日
 葉いもち発生状況(発病時)：
 コラトックス区3%、対照区4%
 散布：7月25日(出穂15日前)
 調査：9月25日(散布62日後、
 出穂後47日、穂揃い後46日)

考察：黒ぼく土での展示であつたが、対照A粒剤に優る結果であつた。

平成14年 岩手県北上農業改良普及センター

上手な使い方

- いもち病の多発環境下では、早めに散布してください。
多発環境下では、予想より早い時期から感染が始まっていることがあります。
- 効果を安定させるために、水深を3cm以上確保してください。
- 散布後の水管理もしっかりと!
コラトックスは浅水管理でも安定した効果が得られますが、より高い効果を発揮させるために、散布後は少なくとも3～4日間は湛水状態を保ってください。また、散布後7日間は、落水・かけ流しはさけてください(漏水しやすい圃場では効果が不安定になります)。



■使用上の注意

- 散布に当っては、田水深を3cm以上にし、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお漏水の激しい水田では使用をさけてください。
- 葉いもちに対する初発時の散布は多発の場合、効果が劣ることがあるので、散布時期に注意してください。
- もみ枯細菌病に対しては、効果が劣る場合があるので本病を主体とした防除には使用せず、穂いもちとの同時防除としてください。
- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

【保 管】直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2019年7月現在の知見に基づいて作成されております。1693(19-7)